

# 企画提案書作成要領

(明石市公共施設における次世代型太陽電池（ペロブスカイト太陽電池）導入等業務委託）

## 1 企画提案書の構成

企画提案書は次に掲げる書類で構成し、順番に並べてホッチキス留め等して7部提出すること。

- ① 企画提案書（表紙）
- ② 企画提案
- ③ 業務スケジュール
- ④ 実施体制調書
- ⑤ 業務実績調書
- ⑥ 会社概要書
- ⑦ 業務責任者の雇用関係を証する書類（写）

## 2 各様式の記載に係る留意事項等

### ① 企画提案書（表紙）

様式9を使用し必要事項を記載すること。

### ② 企画提案

採点表（審査基準）に基づき明確に記載すること。

また、原則として、(ア)から(オ)の項目を含めること。

#### (ア) 実施方針

- ・提案（設計/施工/工事監理）の基本方針・概要等を記載すること。
- ・設備の平常時のシステム構成図を記載すること。

#### (イ) ペロブスカイト太陽電池及び蓄電池設備の設置容量

- ・各施設における想定設備容量（ペロブスカイト太陽電池の定格出力（kW）と年間総発電量（kWh）。蓄電池出力（kW）及び容量（kWh））を検討すること。
- ・使用するペロブスカイト太陽電池・蓄電池・パワーコンディショナーについて、製造事業者との関係性、実際に使用する製品の型番も含めて記載すること。

#### (ウ) 自家消費電力量及び温室効果ガス排出削減量

- ・想定自家消費電力量を検討すること。
- ・想定自家消費率が最大となる考え方を示すこと。なお、想定自家消費率が50%以上となることが必須である。
- ・1年間の温室効果ガス排出削減量を算出すること。電力の二酸化炭素排出量係数は、関西電力株式会社が公表する調整後排出係数 0.415kg-CO<sub>2</sub>/kWh（2024年度実績）を用いること。

#### (エ) 設備設置仕様

- ・ペロブスカイト太陽電池の設置場所、設置方法（架台等）を記載すること。
- ・想定する設置場所、設置方法における J I S C 8955（2017）に定められている荷重（風圧、積雪、地震等）に対する太陽光発電設備の耐荷重を、風速、積雪量、震度等を用いて記載すること。

#### (オ) 災害時に利用可能なシステム

環境省補助事業における特別区分 A に求められる基準に合致するよう、以下の点を含めて災

害時の利用方法を提案すること。併せて、市が地方債（脱炭素化推進事業債）を活用して蓄電池を導入することを想定した検討を行うこと。

- ・災害時のシステム構成図
- ・災害時 の利用、操作方法（特定負荷への供給の有無、停電時に必要な機器の操作及び配線作業の要否等）
- ・自立運転時に太陽光発電設備等から使用可能な出力（kW）

③ 業務スケジュール

着手から成果物の提出まで業務スケジュールについて途中経過を明らかにして作成すること。

④ 実施体制調書

様式10を使用し必要事項を記載すること。

⑤ 業務実績調書

様式11を使用し必要事項を記載すること。

⑥ 会社概要書

様式12を使用し必要事項を記載の上、会社パンフレット等があれば添付すること。

⑦ 業務責任者との雇用関係を証する書類（写）

次に掲げるもののいずれか1つ以上を添付すること。

健康保険資格証明書（雇用証明）、雇用保険被保険者資格取得等確認通知書、住民税特別徴収税額通知書、健康保険・厚生年金被保険者標準報酬決定通知書、その他常勤3か月雇用を確認できるもの